

中学生が丹後産コシヒカリについて学習

当所では、地域に開かれた農業研究所を目指しており、近隣の学校の農業体験や農業をテーマにした授業の支援等を行っています。

10 月 3 日に所内にて、弥栄中学校の 1 年生を対象に、「京丹後市の米作りー現状と今後の展望」をテーマに授業を行いました。また、丹後産「コシヒカリ」と秋田県産「あきたこまち」の食べ比べを行い、それぞれの粘りや硬さなどの食感について話し合いました。

生徒たちは、夏季の高温が米の品質を下げることや、丹後の農家の努力や苦労が丹後産コシヒカリの食味を支えていることに関心を示していました。

今後も、府民が農業や稲作に対する理解や興味を深める活動を続けていきます。



中学 1 年生にも理解できるように言葉を選んで授業しました